

「Shoto English Camp」

渋谷区立松濤中学校

【TGG利用に関する基本情報】

利用日	令和元年6月28日(金)
利用学年・参加人数	第1学年 91人
利用コース	半日(セッション2-3) ランチプログラム利用(有)
利用級	初級
教育課程上の位置付け	学校行事
利用プログラム	<input checked="" type="checkbox"/> アトラクション・エリア <input checked="" type="checkbox"/> アクティブイマージョン・エリア



○本校における英語教育・国際理解教育について

渋谷区英語教育重点校として16年目を迎える。「世界へ松濤中生」を教育目標にグローバル人材の育成を目指している。パーシャル・イマージョン教育を行い、次のような取り組みを行っている。

- (1) 火曜日～金曜日の朝15分間は、英語のアクティビティを行う。
- (2) 英語の他、音楽・美術・体育・家庭科も日本人教員とALTとのTTで授業を行う。
- (3) 学活、生徒朝礼、学校行事のアナウンスは生徒が英語で実施する。
- (4) ミクロネシアからの留学生との交流会を毎年実施している。

○利用日当日の行程



○事前学習や事後学習について

2泊3日のShoto English Campの3日目に位置付けた。1・2日目は、屋外での英語を使ったアクティビティを行い、班ごとに全員が英語劇を上演した。2日目の午後にTGG準備ブックを活用して事前指導を行った。事後学習では、準備ブックの振り返りシートを活用した。

○児童・生徒の変容について

生徒は、ALT以外のネイティブ・スピーカーと会話することに、緊張感を抱いていた。しかし、現地での体験の楽しさから自然に会話することができて自信を深め、英語活用への意欲を高めた。

○本校のTGG利用の特徴について

ALTとの会話に慣れてきたところで、ミクロネシアの留学生と交流を行った。その後Shoto English Campで英語漬けの生活を過ごし、その成果を確かめる意味で最終日にTGGを活用した。



ミクロネシア交流会



英語劇 MOMOTARO



TGGでの体験

「英語で伝わる実感 ～世界で活躍できる人材の育成～」

小中一貫校八王子市立みなみ野小中学校みなみ野中学校

【TGG利用に関する基本情報】

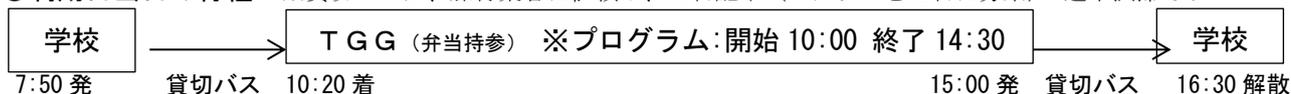
利用日	令和元年8月30日(金)
利用学年・参加人数	第3学年・180名(／182名在籍)
利用コース	半日(セッション2-3) ランチプログラム利用せず(各自弁当等持参)
利用級	初級
教育課程上の位置付け	総合的な学習の時間、英語科、学校行事
利用プログラム	<input checked="" type="checkbox"/> アトラクション・エリア <input checked="" type="checkbox"/> アクティブイマージョン・エリア



○本校における英語教育・国際理解教育について

多摩地区初の施設一体型小中一貫校として、市費支弁講師(小中一貫教育講師)1名が配属されている。この講師が、英語科主幹教諭と共に、週1コマほど、中学校舎と連結している小学校エリアに向き、小学生に対し、外国語活動・英語の授業を展開している。このことにより、中学校進学後のALT等を活用したオールイングリッシュの授業が円滑に実践されている。

○利用日当日の行程 ※貸切バスは、旅行者に依頼し、4台配車(5クラスを4台に分乗) 途中渋滞あり



○事前学習や事後学習について

事前学習として、ALT等を活用した授業を一層充実させ、既に第2学年から試行しているオールイングリッシュの言語環境に慣れ親しむことに努めた。

事後学習として、TGG利用後に修学旅行が実施された。京都・奈良を観光中の外国人に対し、英語で話しかけてみるなど、英語で伝わる実感を体得することができた。



TGG(トラベルエージェンシー)での体験

○生徒の変容について

TGG訪問前は、「一言も話せないかもしれない。」等、不安を吐露する生徒もいた。しかし、プログラムが始まると、楽しそうに活動する姿が見られた。エージェントと心底から仲良くなったことを喜ぶ生徒も多かった。「机上で学習する英語」ではなく、本来あるべき「人と人をつなぐ英語」を肌身で感じ取ることができた。

○本校のTGG利用の特徴について

今年度から、第2学年からTGGを活用している。費用面や早朝からのお弁当作りなど、保護者のご理解・ご協力が絶大である。また、本校の英語教育に対し、地域の方々からも高い評価が寄せられている。このため、小学校段階から外国語活動を充実させるとともに、中学校英語科の基礎を徹底させる。そして、TGG訪問や修学旅行等を活用し、英語で伝わる実感を大切にさせていく。このように、世界で活躍できる八王子・みなみ野シティ発の人材育成を地道に継続していく。



TGGでの体験を終えて

「TOKYO GLOBAL GATEWAY への校外学習とかえつ有明の英語教育」

かえつ有明中・高等学校

【TGG 利用に関する基本情報】

利用日	令和元年 10 月 11 日（金）
利用学年・参加人数	中学 1 年 196 名
利用コース	半日コース（セッション 1－2） ランチプログラム利用無し
利用級	初級+、中級、中級+
教育課程上の位置づけ	特別授業
利用プログラム	<input checked="" type="checkbox"/> アトラクション・エリア <input checked="" type="checkbox"/> イマージョン・エリア

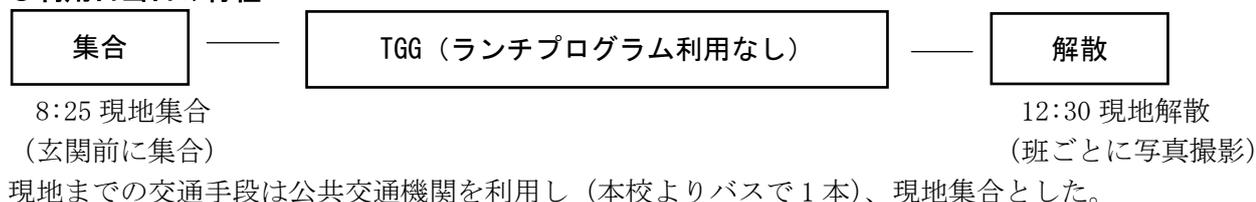


○本校における英語教育・国際理解教育について

本校では、独自の国際生英語プログラムによる他校にはない強力なサポート体制を敷き、多様な経験を重ねてきた国際生を積極的に受け入れている。Honors クラス、Advanced クラス、Regular クラスの 3 つのレベルの英語の授業がある。中学校では 3.5 人に 1 人が国際生である。

また、全教科で「身につけてほしい知識と資質・能力のコア」を設定した「モデル・コア・カリキュラム」を作成している。英語の授業では「英語を使って、こういうことができるようになりたい」という夢や目標を設定し、多角的に学ぶ。

○利用日当日の行程



○事前学習や事後学習について

TGG に行くまでに 2～3 回オンライン英会話のプログラムを使用し、英語で自分自身について話す機会を設けた。事前学習としては、1 週間前の学活を使用し、班分けを決定し、英語のクラスによってはプログラムの希望を取った。前日にもう一度集合時間の確認やしおりの配布を行い、当日の流れについて再度確認を行った。事後学習は特に実施していない。

○児童・生徒の変容について

本校では国際生入試で入学し、英検 1 級レベルの生徒たちもいれば、ABC から始まり、英語をしっかりと学び始めたのは中学生になってからという生徒もいる。アンケート結果からは英語力に関わらず、プログラムを楽しんだ様子がうかがえた。英語に関する興味関心が高まり、特にスピーキングやリスニングに関して、意識が高まったように感じると授業担当者がコメントしている。

○本校の TGG 利用の特徴について

本校では中間試験が中学 1 年生では科目数が少ないため、1 日短くなっており、その日に特別授業を例年設定しており、そのプログラムの一環として初めて取り入れた。英語科で共有したところ、教員の興味関心が高く、今後は他学年でも実施を検討する。

